

# 〈2年〉

じどうのみなさんへ



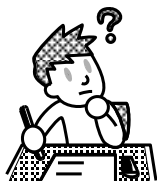
【かてい<sup>がく</sup>しゅうについて】

〇かてい<sup>がく</sup>しゅうの時間<sup>じかん</sup>…毎日<sup>まいにち</sup>20～30分<sup>ぶん</sup>以上しよう！

(毎日<sup>まいにち</sup>の宿<sup>しゅくだい</sup>題)

〇音読<sup>おんどく</sup>、けいさんカード・・・大きなこえで、はっきり<sup>ただ</sup>正しくよみましょう。  
よんだら、カードに、サインをしてもらいましょう。

〇漢字ドリルまたはプリント・・・（こくご）  
〇計算ドリルまたはプリント・・・（さんすう）



① 学校で学しゅうしているもんだいが出ています。

よく思い出して、こたえましょう。

② 文<sup>ぶん</sup>しょうだいは、もんだいをよくよんで、こたえましょう。

(こくご)

① 文字<sup>もじ</sup>を、ていねいに<sup>か</sup>書きましょう。

② もんだいをよくよんで、こたえを<sup>か</sup>きましょう。

〇かん字<sup>じ</sup>ドリル・・・ていねいにれんしゅうしましょう。

〇そのた・・・日記<sup>にっき</sup>、けんぱんハーモニカ、さくぶん、どくしょなどをしましょう。

【こんなことに気をつけましょう】

★家<sup>いえ</sup>の人とそうだんして、学しゅうするばしょ・学しゅうする時間<sup>じかん</sup>をきちんときめましょう。

★しせい<sup>ただ</sup>や正しいえんぴつのもちかたに気をつけましょう。

★おわたたら、おうちの人<sup>ひと</sup>に見てもらいましょう。

★おうちの人<sup>ひと</sup>に見てもらったら、すぐにれんらくぶくろに入れて、すぐに時間<sup>じかん</sup>わりを合わせましょう。

【こんなときには？】

★わからないときは、まず、じ分<sup>ぶん</sup>でしらべてみましょう。それでもわからない時<sup>とき</sup>は、おうちの人にきくか、つぎの日<sup>ひ</sup>先生<sup>せんせい</sup>にきくようにしましょう。





### 【特にくり返し学習が大切な内容】

- 算数・・・くり上がりのあるたし算やくり下がりのあるひき算をスムーズにするためには、1年生で学習した1位数の暗算が大切です。また、2年生では九九を学習しますが、九九の暗記だけでなく、立式の意味をしっかりとらえさせたいと考えています。  
それぞれの計算がしっかり定着するよう、ご家庭でのご支援をお願いします。
- 国語・・・2年生の新出漢字は、1年生の2倍あります。習った漢字をしっかりと覚え、使えるようにするために、くり返しの練習が大切です。

### 【こんな宿題が出ています】

～時間は20～30分を目安にしていますが、個人差がありますので、お子様にあったあたたかい<sup>はげ</sup>励まし<sup>ねが</sup>をお願いします～

- 音読・計算カード・・・はっきり丁寧に読む練習をして内容理解を深められます。  
正しい読みやよい姿勢で読むように声をかけてください。  
カードへのサインに、ご協力下さい。
- プリント・・・算数の計算問題、国語の言葉について学習します。授業で学んだことがもとになっています。
- 漢字ドリル・・・漢字練習ノートに練習します。
- そのた・・・日記・計算カード・鍵盤ハーモニカ・読書など

### 【宿題の○つけや間違い直しなどについて】

低学年では、可能な限り宿題の丸付けを 保護者の方にしていただければと考えています。理由として、

- ☆その場でまちがいを直すことが、子どもの確かな学力につながる。
- ☆保護者の方が、子どもの学ぶ姿勢やつまずきに、いち早く気づくことができる
- ☆子どもと保護者の方の間に、より親密な時間が生まれる。そのことが子どもの自信につながり、学習への意欲につながる。

ということが期待されるからです。

「宿題を見る」ことで 気づかれた様々なことを、担任に伝えていただくと、より ippso 家庭と学校での支援がスムーズにいきます。

### 【お願い】

- ①家庭学習は、自分から進んで学習する力をつけるための第一歩です。低学年から習慣づけることができるよう、ご協力をお願いします。
- ②親子で、『宿題の約束』をつくり守っていくようにして下さい。ご家庭に合わせた【勉強時間】【勉強場所】で学習するように声をかけて下さい。
- ③『ながら勉強』をしない習慣をつけるようにして下さい。テレビは消すこと、お菓子を食べながらしないことなど、学習に集中する習慣をつけて下さい。
- ④子どものがんばりを見つけて、ほめてあげて下さい。子どもによって、がんばりも様々です。昨日できなかったことが今日はできた、自分から進んで取り組むことができた、最後まで丁寧にやりとげることができたなど、一人ひとりに応じてできたことを見つけてほめて下さい。保護者の方の励ましが、何よりも子どもたちの次への意欲につながります。